



平成 29 年 2 月 20 日

各 位

会社名 株式会社アサツー ディ・ケイ
代表者名 代表取締役社長 植野 伸一
(東証第一部 コード番号：9747)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 中島 香
Tel 03 (6830) 3855

(開示事項の経過報告) 当社連結子会社による不適切な会計処理についてのお知らせ

平成 28 年 12 月 27 日付「当社連結子会社による過年度における不適切な会計処理に関するお知らせ」、平成 29 年 1 月 6 日付「当社連結子会社による不適切な会計処理にかかる特別調査委員会による調査報告書の受領に関するお知らせ」、平成 29 年 1 月 10 日付「当社連結子会社による不適切な会計処理にかかる特別調査委員会による調査報告書の公表に関するお知らせ」、平成 29 年 1 月 31 日付「(開示事項の経過報告) 当社連結子会社による不適切な会計処理についてのお知らせ」、平成 29 年 2 月 6 日付「(開示事項の経過報告) 当社連結子会社による不適切な会計処理についてのお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、当社が平成 28 年 9 月に買収し、当社の連結子会社となった株式会社ゴンゾ（以下、「ゴンゾ」といいます。）において、買収以前に不適切な会計処理が行われておりました。

当社は、本件不適切な会計処理に関し、本日開催の取締役会において、下記の事項を決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、特別調査委員会がフォレンジック調査等で指摘した事項を踏まえて当社が行った必要な調査の結果につきましては、本日お知らせいたしました「(開示事項の経過報告) 当社連結子会社による不適切な会計処理についてのお知らせ (当社調査結果)」に記載しております。

記

1. 訴訟の提起等について

当社は、ゴンゾの買収に関連して被った損害の回復に向け、いわかぜ 1 号投資事業有限責任組合（以下、「いわかぜファンド」といいます。）らに対する訴訟提起を検討してまいりましたが、検討の結果、いわかぜファンドらに対し、当社に生じた損害（特別調査委員会の設置および運営等に係る費用ならびに当社が行った必要な調査に要した費用等）について、公開買付応募契約の表明保証違反に基づく補償請求等を行う方針（訴訟外での解決が難しい場合には、訴訟提起を行うことを含む。）を決定いたしました。ただし、いわかぜファンドらに対する請求額等の詳細につきましては、継続して発生している損害、現在金額を集計中の損害があり、また、その内容について更なる調査を要することから、現在、検討中でございます。なお、当社は、当社によるゴンゾの公開買付価額の妥当性につきましては、問題がないと考えております。それといたしますのも、当社は、公開買付に係るいわかぜキャピタルとの

交渉を、マルチプル法により算定した企業価値を基に行って参りました。今般ゴンゾにおいて認められた不適切な会計処理により、ゴンゾには簿外債務が存在していることが発覚し、当初の想定を上回る純資産の毀損が生じましたが、当該簿外債務の存在は、当社が公開買付価額決定時にマルチプル法により算定した株式価値の基礎となるゴンゾの事業計画には影響を与えないため、ゴンゾの事業価値には影響を及ぼさず、また当該簿外債務による有利子負債の増加を考慮しても、なお、当社が算定した株式価値が公開買付価格を上回っているためでございます。また、現時点で、上記補償請求等が当社の業績予想に及ぼす影響はございません。開示すべき影響があった場合には、影響が確定し次第お知らせいたします。

2. ゴンゾの代表取締役社長および取締役副社長に対する処分について

本件不適切な会計処理に関する責任を明確にするため、ゴンゾの代表取締役社長および取締役副社長に対し、以下の処分をくだすことといたしました。

ゴンゾ代表取締役社長：月額基本報酬 30%返上（3年間）

ゴンゾ取締役副社長：取締役解任または辞任

3. 再発防止策

当社は、ゴンゾにおける内部統制および当社によるグループ内部統制の実効化のため、すでにお知らせいたしましたとおり、平成 28 年 12 月 14 日開催のゴンゾ臨時株主総会において、**財經・プロセスマネジメント**または**コンテンツビジネス**にかかる専門的知見を有する当社役員より常勤取締役 1 名（元当社ファイナンス&プロセスマネジメントセンター予算統制業務管理本部長）、非常勤取締役 2 名（米国公認会計士資格を有する現当社取締役執行役員 CFO・ファイナンス&プロセスマネジメントセンター統括、および、現当社上席執行役員コンテンツ・ビジネスセクター統括）、非常勤監査役 1 名（現当社ファイナンス&プロセスマネジメントセンター財經本部長）を選任し、ゴンゾの取締役会および監査役会の実効性の強化および当社に対するゴンゾの業務の報告体制の構築（整備・運用）による財務・経営の監視体制およびコーポレートガバナンスの強化を進めております。また、当社は、当社グループ会計方針の適用および内部監査基準の統一を図るために、ゴンゾにおける適切な社内体制の構築（業務プロセスの改善および業務プロセスの実態を踏まえた各種規程の整備・運用ならびに管理部門の再編）を進めており、特に資金管理を含む財務および経理業務については、当社常勤取締役が担当し、原則、全ての資金の出納を管理することにより、当社による実質的な管理が実現しております。更に、当社の内部監査部門によるゴンゾの業務の監査等を通じて、ゴンゾの財務・経営を監視し、そのコーポレートガバナンスを強化してまいります。

今後は、上記 2. にて記載いたしましたとおり、不適切な会計処理を行っていたゴンゾ取締役副社長は解任または辞任するとともに、平成 29 年 3 月下旬開催のゴンゾ臨時株主総会において、経営にかかる専門的知見を有する当社役員より常勤監査役 1 名（元当社中国統括本部長・当社中国子会社代表）を選任し、また、非常勤ではございますが、ゴンゾの監査役に専念でき、かつ、会計またはコンテンツビジネスにかかる専門的知見を有する元当社役員より非常勤監査役 2 名（元当社執行役員財經本部長、および、元当社メディアコンテンツ本

部長)を選任し、財務・経営の監視体制およびコーポレートガバナンスの更なる強化につとめてまいり所存でございます。なお、全ての現任監査役は、上記ゴソゾ臨時株主総会終結のときをもって、退任する予定でございます。

以 上